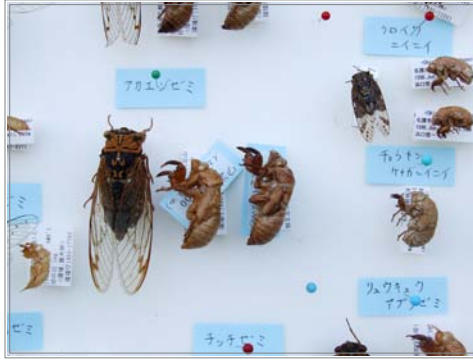


平塚市博物館 こだわりの100選



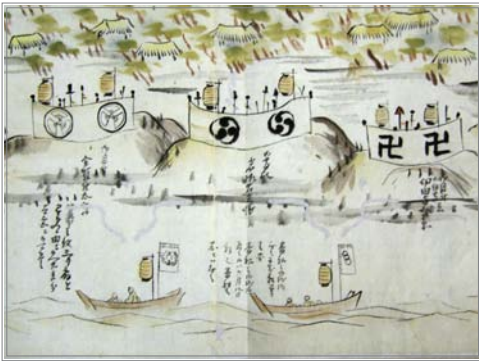
1



2



3



4



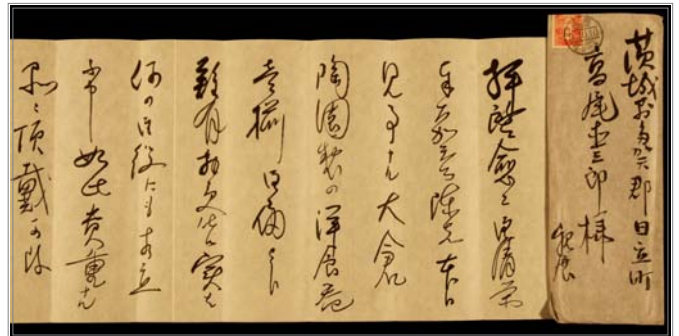
5



6



7



8

1. 有孔罎付土器

岡崎上ノ入遺跡で発見された有孔罎付土器は縄文時代中期の土器です。お酒を造る発酵器と考えられ、ムラの祭りの時に使われたと考えます。(考古) (学) (展布「器の酒にロマンと人生が…」)

2. 日本のセミの抜け殻

沖縄に生息するものの一部をのぞき、日本で見られるセミの抜け殻がほとんどそろっています。(生物) (学)

3. マイワイ

万祝と書き、ブリ大謀網などの大漁時に網元から乗子(乗組員)へ配られた祝い着です。背に鶴と船印・家紋を染め、裾に吉祥模様が描かれます。館蔵の万祝4点から、絵柄の華麗さで選びました。(民俗) (写真は神奈川県立歴史博物館提供)

4. 井沢家文書

小田原藩士井沢家の古文書。近世後期から幕末にかけての外国船の渡来や湾岸防備に関する資料が多く、小田原藩・相模湾の海防の実態を知る重要な資料です。(歴史)

5. 土屋村大久保領惣百姓車連判状

文政8年(1825)、土屋村の百姓が凶作の助成を願い出る際に無礼がないように申し合わせ、そのことを外部に漏らさないよう取り決めたもの。県内でも珍しい連判状です。(歴史)

6. 部分日食写真(1992年1月5日早朝湘南平から撮影)

日食は土地により欠け方が異なります。平塚でどのように見えたかを後世に伝えることも、天文資料の大事な役割です。(天文)

7. 富士火山の火山弾

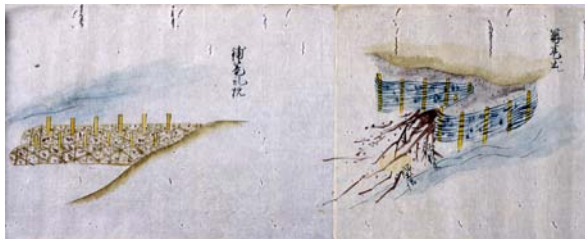
富士山の寄生火山で相模川の生い立ちを探る会会員が見つけた紡錘状火山弾。これほど、典型的な紡錘状をした火山弾はとても貴重です。こんな形になるのはなぜでしょうか?(地質) (学)

8. 小平浪平から高尾直三郎宛書簡

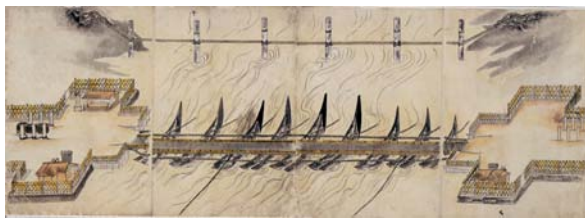
小平浪平は日立製作所創業者。高尾直三郎も同製作所副社長等を勤めた人で、ともに平塚の地に別荘を構えて住しました。昭和8年3月、小平が平塚から高尾宛に出した礼状他1通。著名人と当市の関わりを示します。(市史)



9. 宿内軒別畳数坪数書上帳
14代將軍徳川家茂の上洛準備のため、文久2年（1862）に作成された資料です。幕末の平塚宿の様子を知ることができ、一階常設展示「平塚宿」模型の典拠となっています。（歴史）（[展布](#)）



10. 普請絵巻
堤防や川倉などさまざまな治水施設が描かれた巻物。洪水の多かった金目川流域での治水に対する関心の高さがうかがわれ、近世の治水技術を知る資料として貴重です。（歴史）



11. 馬入川船橋絵図

近世の馬入川に橋は架けられませんが、將軍の通行などには臨時に船橋がかけられました。本資料は明治元年10月、明治天皇が東幸の際に渡ったとされる船橋で、船橋の構造がうかがえます。（歴史）



13. 大山寺縁起絵巻

享禄5年（1532）に書写された大山寺に関する縁起絵のうち記年のある最古の絵巻です。他館からの出品依頼や出版物への掲載依頼が多い資料です。市指定文化財。（歴史）



14. 中原御宮記

徳川家康が鷹狩りの宿泊所として使用した中原御殿とその跡地に建つ東照宮の由来を記した資料です。御殿跡と中原街道の様子が描かれています。市指定文化財。（歴史）

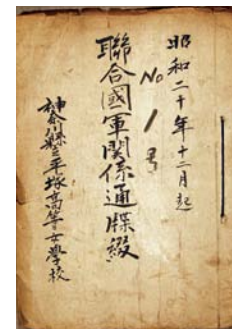


21. 平塚の空襲と戦災を記録する会証言集・資料集
平塚の空襲と戦災を記録する会が編集した証言集。形の残らない事実は体験者一人一人の証言そのものが貴重な資料です。（歴史）（[学](#)）



15. 清田家文書6点

小田原北条氏が須賀の小代官らへ出した朱印状で、戦国時代から須賀が水運の要地であったことを知る貴重な資料群です。市指定文化財。（歴史）



16. 旧県立平塚高等女学校資料

平塚江南高校の前身である県立平塚高等女学校の資料です。大正時代から終戦後までの資料を含み、女学校だけでなく広く教育史、地域の近代資料として重要です。（歴史）



17. 村井弦斎関係資料

明治37年（1904）に平塚に居を構え、大衆小説家として有名な村井弦斎の草稿や遺品です。現在も弦斎まつりや弦斎にちなんだ食べ物などの町おこしで村井弦斎は生きています。（歴史）（[学](#)）



18. 平塚大空襲一学徒動員・15歳の死と生

茨城県立麻生中学校4年生で海軍火薬廠の動員学徒だった平野哲男さんが、昭和20年（1945）7月16日の空襲を描いた絵です。学友の永峰光さんが焼夷弾の直撃で亡くなりました。（歴史）（[学](#)）

19. テルミット・マグネシウム焼夷弾

昭和20年（1945）7月16日の空襲で平塚に約40万本投下された焼夷弾です。この日の空襲で300人を超える命が失われました。空襲の惨禍を物語る資料です。（歴史）（[学](#)）（[展布](#)「生々しい体験を喚起する実物資料」）



20. 焼夷弾が突き抜けた天井板

昭和20年（1945）7月16日の空襲で、黒部丘の民家に落下した焼夷弾が突き抜けた跡の残る天井板です。空襲の爪痕を残す珍しい資料といえます。（歴史）（[学](#)）



22. 裏打ち作業中の資料
破損が著しく将来の保存に不安のある古文書には裏打ちの作業を施します。博物館では裏打ち技術習得した市民を中心にこの作業を行っています。地域の歴史を伝える資料を市民の手で守っているのです。（歴史）



23. 地曳網の船

かつて平塚の浜いっばいに行われていた地曳網が今は見られなくなりました。地曳船の形や大きさは地域性があり、それぞれの地元で保存したいものです。船大工伝統の技を知る貴重な遺品。(民俗) (学) (展ホ)



24. イキョ

カツオの一本釣りは平塚を代表する漁の一つでした。餌のシコイワシをイキョに入れて数日海に浮かべ、狭い環境に慣らしてから積み込み出漁しました。カツオ釣りを語る上で欠かせない資料。(民俗) (学) (展ホ)



25. カラウス

モミからモミガラをとり玄米にする道具で、ドガラウスとも呼ばれ、大正時代頃まで使われました。中に粘土を詰め、カシの歯を埋め、上臼を回転させます。館蔵のドガラウスはこの一点のみで貴重です。(民俗) (学)



26. トージンとモモヒキ

かつて「トウジン・モモヒキ・田前垂れ」が、田んぼ仕事の定番スタイルでした。農家では毎日のように着ていたのに、館蔵品はごくわずか。あまりに身近なモノは残らないという例です。(民俗) (学)



27. オマラさま

小鍋島のカミで“道祖神の家”と呼ばれる家が保管し、1月14日の道祖神祭に、子供たちが新婚家庭へ持出し「子宝に恵まれますように」と唱えました。木製の男根は県内でも類例が少なく珍しいものです。(民俗)



28. アクマツパライのお面

根坂間では、1月14日の道祖神祭の日に、子供たちがこのお面をかぶって各家を訪れ、アクマツパライといってお祓いをしました。近隣でも手作りの悪魔祓いの面はあまり残っておらず、貴重です。(民俗) (学)



29. 打掛

明治中頃、豊田村の村長を勤めた名家同士の縁組で、花嫁が着用した艶やかな色打掛です。古文書をほぐし着物の形に縫い合わせた包み紙から、いかに大切な着物だったかが伝わります。(民俗) (学)



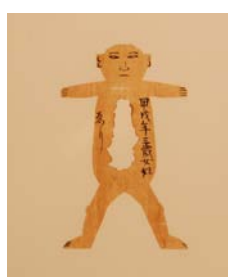
30. ツルベ桶

井戸の水を汲み上げる桶。板が分厚く、とても頑丈に作られています。上部の鉄の輪が動くので水平が保たれ、水をこぼさずに汲み上げられます。どこの家でも使った桶ですが、館蔵品はこの2点だけです。(民俗)



31. 狼のお頭

丹沢山麓は全国で最も多く狼の頭骨が残されている地域です。それはオカシラを狐落としに用いる習俗があったためと考えられています。本資料は江戸末か明治初に秦野市寺山の旧家が所有したものです。(民俗)



32. 虫封じのヒトガタ

明治7年(1874)、三歳女兒“ゑり”さんへの疳の虫封じに用いられたヒトガタで、胸にお灸がすえられ、なんとお腹が切り抜かれています。岡崎の沼田家三代にわた

り米俵2俵半も貯められた御札から、稀少性でこの一点を展示します。(民俗)

33. 石臼

穀物を製粉する道具で、農家の必需品でした。上臼を回転させると、上下の間から粉がこぼれ出ます。最近では学校で栽培した作物を粉にするため、貸出のリクエストが最も多い資料です。(民俗) (学)



34. 念仏講の鉦

田村横宿の念仏講からは、“五十六川地藏”の掛軸、「宝永5年(1708) 田村念佛講中」と刻まれた鉦、数珠、お葬式の穴掘り当番表など、念仏講の関連資料一式が寄贈され、講の実態を把握できます。幾多の人の想いが深くこめられた資料です。(民俗)

35. お不動様



田村上町の不動講では、お不動様(不動明王)を祀っていると流行病に罹らないといわれ、毎月28日に講を行っていました。最後の不動講の折には、講中の方々が涙を流して見送られた、大切な資料です。(民俗)

36. 氷冷蔵庫



上段の氷室に氷を入れ、下段に食品を入れて冷やしておく道具で、一般に戦後、町場の家で用いられました。電気冷蔵庫の出現以前は、氷の需要が高く市内に数軒の氷屋さんがありました。(民俗) (学)



37. 風呂桶

ガスを使用する前は、薪やソダ（枯れ枝）、麦カラなどでお風呂を沸かししました。正面の焚き口に燃料をくべ、煙突口から排気します。風呂釜は内側に付いています。館蔵の風呂桶はこの一点のみです。（民俗）



38. 平塚の囃子太鼓ビデオ

博物館では市内外の祭礼行事や民俗芸能を動画で撮影しています。このうち、市内の囃子太鼓約80団体の演奏を3時間分に編集し、会場でご覧できるようにしました。（民俗）（学）



39. 振り子時計（ぼんぼん時計）

明治後期から昭和20年代にかけて製造された振り子時計（ぼんぼん時計）は、明治以後近代化が進む中で、時刻と時間による生活のリズムが定着した歴史の証人でもあります。（天文）（学）

40. レンズガラス

レンズ用のガラスは材料になる珪石、ソーダ灰、石灰、炭酸塩などをろつぽでまぜ、高温で溶かして作られました。ガラスはろつぽごと割ってかたまりとして取り出しました。（天文）



43. 太陽黒点の写真



1988年から、太陽黒点の写真観測をほぼ同じ方法で継続しています。巨大な黒点群、フレア爆発現象などが撮影されました。（天文）（学）



42. 星座写真（春・夏・秋・冬）

星や星座は季節によって移り変わります。七夕の星、夏のさそり座、冬のオリオン座、四季の夜空の写真です。星は実物入手できないので、写真が重要な資料になります。（天文）（学）

41. 旧暦の頒布暦

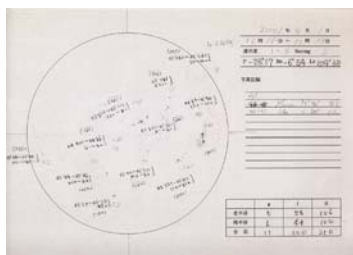


暦は中国から導入した太陰太陽暦（旧暦）を明治5年まで使っていました。いまでも祭り、季節の行事などに月遅れ、と称して旧暦に基づく生活が色濃く残っています。（天文）



45. 1986年 ハレー彗星写真

77年周期で太陽や地球に近づく彗星です。前回帰にあわせた特別展開催では、1910年の写真入手に苦労しました。次回帰（2062年）では、この写真が使えるはずです。（天文）



44. 太陽黒点のスケッチ

1976年7月から、太陽黒点のスケッチ観測を同じ方法で継続しています。その間、太陽の第21活動期から23活動期まで、ほぼ11年の周期を3回観測できました。（天文）（学）



46. 大接近の火星写真

2003年8月、火星は地球に6万年ぶりの大接近をしました。火星は初秋の南の空に赤く煌々と輝き、望遠鏡でも表面の様子がはっきりと見えました。（天文）（学）



49. しし座流星群

33年の周期性を持つ流星群。2001年11月19日未明の流星雨は、多くの人の心に残りました。写真はこれから長きにわたり、その記憶を具体化する役割をはたしてくれるに違いありません。（天文）

47. 金星の太陽面通過写真

2004年6月8日の金星太陽面通過現象は、1874年（明治7年）以来130年ぶり、という現象でした。天候に恵まれ、望遠鏡で太陽の中を真っ黒な金星が通過していく様子を観察できました。（天文）



48. ヘールボップ彗星写真

（小諸市で撮影）

1997年に接近。20世紀で5指に入る巨大彗星。数ヶ月にわたり平塚でも肉眼で確認できました。この写真は、良好な星空を求め出張して撮影しました。天候と撮影地探しにとっても苦労しました。（天文）（学）



50. プラネタリウム初代投影機

1976年の博物館開館から、1988年12月まで使用していた投影機です。いま30歳代の方々が、小学生のころになったのは、この投影機が映し出していた星空です。(天文)



51. ギベオンいん鉄



隕石は宇宙からやってきた物質です。私たちが宇宙にしていることを教えてください。これは所蔵する隕石では最も大きなもので、重さは27kgもあり、持ち上げてその重さを体感できます。(天文) (学)

52. 北裏C式土器

五領ケ台貝塚から出土したこの土器は在地のものではなく、東海地方の「北浦C式土器」と呼ばれる土器です。どのような経緯・経路で平塚まで運ばれたのでしょうか。(考古)



53. 弥生土器

中原上宿遺跡群の第4区(厚木道遺跡)で弥生時代後期の集落が発見されました。砂丘上では初めて確認された集落でした。(考古) (学)



54. 埋甕

上ノ入遺跡で発見された土器。住居の入り口部分に埋められていました。幼児の胎盤を土器の中に入れ、丈夫に育つように願ったといわれます。(考古)



55. 靱(もみ)の跡がある土器

上ノ入遺跡で発見された弥生土器片。当時、稲作が行われたことを示します。耕地は台地の北側に展開する谷戸を利用したと思われる。(考古) (学)



56. 五領ケ台式土器

五領ケ台貝塚から出土した土器は「五領ケ台式土器」と設定され、中期初頭に位置づけられました。昭和47年国史跡指定。平塚で唯一の指定遺跡です。(考古) (学) (展) (当所の文化黎明の象徴として)

57. 煮炊きに使う土器

王子ノ台遺跡で発見された弥生時代中期の須和田式土器。県内でも数少ない貴重な資料です。この時期の集落が発見される契機になったものです。(考古)



58. 鉄剣

万田熊之台横穴墓から発見された鉄剣で、その希少性から、被葬者はその地域の豪族と理解されます。横穴墓は古墳後期に新たに出現した家族墓です。(考古) (学)



59. イルカの頭骨

五領ケ台貝塚から発見されたイルカの頭骨には解体された跡(傷)が残っています。イルカ漁は縄文人にとって食料源の一部であり、食生活を知る上で貴重な資料です。(考古)



60. 刻み目のある「馬骨」

豊田本郷遺跡群で発見された古代の刻み目のある馬骨は呪術的意味をもったものと指摘されています。全国的にも数少ない事例として注目されている資料です。(考古)



61. 馬の鞍金具

高根横穴墓から出土した馬具の一部で、鉄地金銅貼の杏葉です。この資料から有力な豪族が存在したことを示すものです。大和王権が相武の豪族に分け与えた可能性があります。(考古)



62. 古代の硯

高林寺から出土した硯は畿内で作られた硯です。硯は役所や寺などで使われた必需品です。この硯が出土した場所は国司の館ではないかと考えます。(考古)

64. 太型蛤刃石斧

自然堤防に立地した田村天神前から出土したもので、神奈川県内でも第一級の優品です。伐採用の道具で、米作りとともに大陸から伝えられた道具の一つです。(考古) (学)



63. 炭化した球根

岡崎の上ノ入遺跡で発見された炭化球根は縄文時代の住居跡からオニグルミと一緒に発見された。資料のキツネノカミソリ類は毒を含んでいるために、「水晒し」が必要です。(考古)



65. 湘南平から見たパノラマ

2月の寒い最高に晴れた日に湘南平から撮影した丹沢の山々のパノラマ写真です。丹沢表尾根と箱根火山の地形がよくわかります。(地質)



66. 「国厨」の墨書土器（複製）
 稲荷前A遺跡の「国厨」と書かれた8世紀後半の墨書土器は相模国府が平塚に所在したことを示す資料です。近年、国庁脇殿と思われる建物が発見されています。（考古）（学）（展ボ「相模する学説の証左の一」）



67. 三角縁四神ニ獣鏡（複製）
 砂丘上に造られた4世紀の真土大塚山古墳は前方後方墳の説が有力です。出土した三角縁四神ニ獣鏡は威信財として、大和王権から配布された可能性があります。（考古）（学）（展ボ）



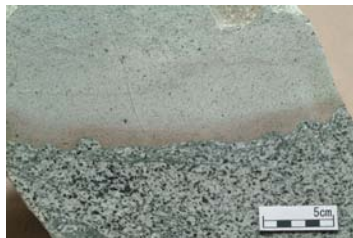
68. ナウマン象化石
 平塚市上吉沢では数頭のナウマン象化石や鹿化石が多量に見つかっています。7万年ほど前の寒冷期、この地にゾウが生きていたことを示しています。保存処理の技術により、軟らかい骨が保存されました。（地質）（学）（展ボ）



69. 大磯層のサメの歯
 600万年前の大磯層からはサメの歯の化石が数多く見つかります。この標本は中でも最大のもので、体長10m以上のジョーズの歯です。（地質）（学）



70. タマネギ石
 岩石の風化過程を示すタマネギ石は収集が難しく、ぼろぼろ崩れてしまいます。この資料は保存処理により、とても良い状態を保ち、風化の過程がよくわかります。（地質）



71. トナル岩の貫入接触部
 西丹沢に広く分布する花崗岩類（トナル岩）が地下深部に貫入したことを示す標本です。研磨してあるので、その接触部の様子がよくわかります。（地質）



72. 火山の火道を示す岩脈
 丹沢が火山島であった証拠を示すもので、丹沢を作るグリーンタフを貫いてドレライト（粗粒玄武岩）マグマが貫入し固化したものです。その接触部は急冷して緻密になっています。（地質）



73. 断層の擦痕
 断層運動の証拠を示す断層の傷跡が、凝灰岩中に残されています。傷跡を指でなでると断層の運動方向がわかります。これほどきれいな条線はめったに見られません。（地質）（学）



74. 熊木沢のトムソン沸石
 丹沢の岩石には火成活動を反映してたくさんの沸石の脈がみられます。この標本は中でも最もきれいな沸石で、よく見ると細かな針状の結晶が並んでいます。（地質）



75. 丹沢のアオサンゴ化石
 丹沢は南の海の生まれた証拠としてあげられるサンゴ化石です。現在このサンゴは沖縄周辺に生息しているだけで、伊豆諸島には見られず、議論を呼んでいます。（地質）（学）



76. 土屋の火砕流堆積物
 5万年前に箱根火山から噴出した火砕流は、平塚市土屋遠藤原では厚さ10mにもなります。この標本は火砕流を保存処理したもので、大粒の軽石と炭化した木片を含み、高温であったことを物語っています。（地質）（学）

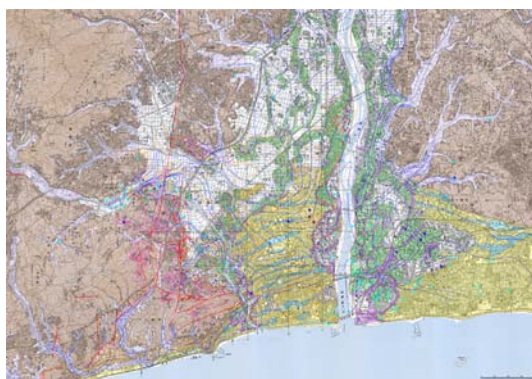


77. 豊田のサクラガイ
 豊田ポンプ場の建設時に地下から産出した化石の一種です。6000年前（縄文前期）の豊田がサクラガイの打ち上げられる砂浜であったことを物語っています。化石なのに色が残っています。（地質）（学）



78. 丹沢の堇青石岩
 神奈川県天然記念物に指定されているもので、高温の接触変成作用により生じた結晶です。表面が突出するのでイボ石と呼ばれます。（地質）

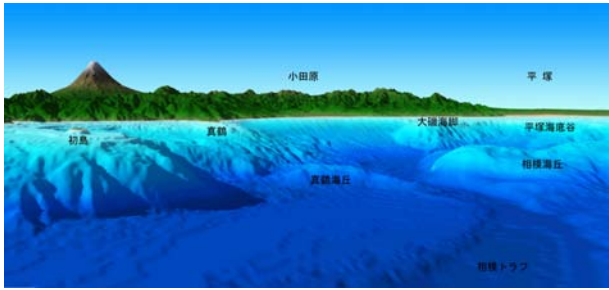
79. 液状化の剥ぎ取り標本
 地震による液状化した地層を剥ぎ取って作った実物パネルです。地層の一部が液状化し、上部へ吹き上がった様子がよくわかります。（地質）



80. 相模平野の地盤図
 地形分類と軟弱地盤や液状化との関わりが読みとれると共に、活断層の位置や変位量などの情報を盛り込んでいます。30年間の調査成果を盛り込んで作成したものです。（地質）



81. ボーリングコア・報告書
 学校の校舎を作るときに行ったボーリングの報告書と土質標本です。小学校への貸し出し頻度がNo1の資料です。（地質）（学）



82. 相模湾沖から相模川流域を見た鳥鯨瞰図

相模湾の海底から丹沢山地・富士火山まで含めた立体的な鳥鯨瞰図です。データ処理により最近ではこうした図も作成できるようになりました。(地質)



84. カワラナデシコ

平塚市の花、ナデシコ (カワラナデシコ) です。自生のカワラナデシコは減少しており、野外で見かけることは少なくなりました。展示はさく葉標本 (押し花) です。(生物) (学)



85. コサギ

平塚市の鳥、シラサギ (コサギ) の剥製です。頭の後ろの飾り羽が特徴です。(生物) (学)



88. オオハクチョウ

博物館にある剥製の中で、一番大きいものです。日本には冬鳥として飛来しますが、神奈川県ではめったに見られません。(生物)



89. ヒメシロハラミズナギドリ

チリ沖で繁殖し、日本ではめったに見られない鳥。神奈川県で確認された記録としては2番目になります。(生物)

91. 植物観察画

加藤あきさんが生涯で描いた植物の観察画です。資料保存のため、会期中で絵を交換します。2009年3月14日から特別展「加藤あき植物観察画」展を開催します。(生物)



93. ?

浜の漂着物ですが、どこから来たのかも謎なら、使用方法も謎。漢字に似ているけれど、どこの国の文字なのかも、まだ分かりません。漂着物拾いの面白さのひとつは「謎解き」です。(生物)

83. 平塚のセミの抜け殻

「みんなで調べようー平塚のセミー」の際に集めたセミの抜け殻標本です。市民参加の調査を行事として行ない、たくさんさんの抜け殻が集まりました。(生物) (学)



86. アオダイショウの抜け殻

当館生物資料第1号。1973年6月9日、平塚市中里で採集されたものです。(生物)



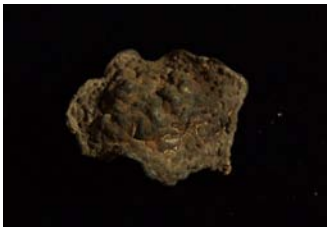
87. 菅間荘昆虫コレクション

1940年代の標本です。平塚市博物館にある昆虫標本の中で、最も古い時代に採集されたものです。(生物) (学)



90. マンボウ

1961年から1962年にかけて西湘大型定置網漁場で採集された標本 (西山コレクション) のひとつ。相模湾の魚類相を知る上で重要な資料です。(生物)



92. ディスキナコンボルタ

平塚市ふじみ野の民家の庭に現れた「キノコ」。一見奇妙な生きものの代表として展示します。あなたの庭にも現れるかも・・・(生物)

94. アカウミガメ

平塚海岸にも、毎年数頭のウミガメが打ちあがっています。海岸の環境が変化してしまったため、湘南海岸で産卵をすることは、ほとんどなくなってしまいました。(生物) (学) (展示「漂着物は注目度高い。環境変化説明の好例」)





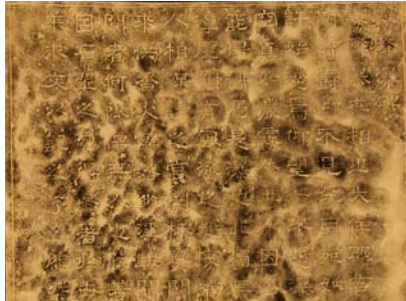
95. 写真「市制施行案議決記念」

昭和7年(1932)1月16日に中郡平塚町が市制施行案を議決した記念に、町役場前で理事者・議員・報道関係者で撮った貴重な写真です。(市史)



97. 『勇進』第2号

昭和7年6月発行。大正9年度に尋常高等須賀小学校に入学した同級生たちで組織した勇進会の機関紙です。当時の青年たちの感情がよく表れています。会員の中には、戦後の平塚において教育・経済界等で活躍された方の名前も見受けられます。(市史)



96. 拓本「霧降瀑布」

平塚八景のひとつ、霧降の滝の由来を記した碑の拓本です。武州忍藩(松平氏10万石・埼玉県行田市)の藩士千賀某に、吉沢村の人で売薬を業とする二宮石翠が碑文を依頼し、天保4年(1833)5月建碑されたことがわかる貴重な拓本です。元の碑は磨耗のため読み取りづらくなっています。(市史)

98. 『ぎんなん』3号

昭和8年2月、馬入青年団修養部が発行した機関紙。「非常時」の青年たちの想いが刻まれた貴重なものです。(市史)



99. ポスター「百億貯蓄促進経済戦強調運動」

昭和14年(1939)、時の政府は国民精神総動員新展開の基本方針に基づき物資活用ならびに消費節約の基本方策を閣議決定しました。その一環として貯蓄を推進しようとする神奈川県のパスターです。当時の世情を伝えます。(市史)



100. ポスター「大日本は神國なり」

昭和15年(1940)、神奈川県神道連合会が作った皇紀2600年記念のパスター。日本は神国であり、家庭には必ず神棚を設け伊勢神宮を奉斎しようという趣旨です。当時を伝えるビジュアルな資料として貴重。(市史)

博物館、という施設は、物を集め、保存し、研究して、その価値を広く知っていただく活動を行ないます。物にどのような価値を発見するかという点に、それぞれの博物館の個性があります。

1976年に開館した平塚市博物館が、地域博物館という新しい概念の博物館として注目され、30余年が経過しました。その間に収集した資料から、今回は100点を選びすぐて展示いたしました。展示した資料や、その資料へのコメントから、私たちの活動がどのようなものか、どのようなことを考えているか、など、さまざまな想像をしていただけたら幸いです。

これからも、地域に残るさまざまな「価値」を、物を通して掘り起こし、保存すべく努力してまいります。どうかご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

■夏期特別展 平塚市博物館こだわりの100選

■会期：平成20年7月19日(土)～9月7日(日)

■会場：平塚市博物館特別展示室・常設展示室

■関連行事(参加自由)

・学芸員のギャラリー&バックヤードトーク

7月19日～8月30日の毎週土曜日、午後3時～4時

・「裏打ちの会」資料整理活動実演

8月20日(水)午前10時～午後3時(午前12時～午後1時休憩)

同時開催

「学芸員の七つ道具」展

期間：7月19日(土)～9月7日(日)

場所：1階展示室寄贈品コーナー

調査・収集・研究・展示など、さまざまなしごとに学芸員が用いている道具を展示します。

平成20年(2008)夏期特別展 平塚市博物館こだわりの100選 パンフレット

発行：平塚市博物館 2008.7.20 2000部

*資料名に付した番号は便宜上振ったもので、展示順と異なる場合があります